

鷺宮小学校・西中野小学校統合に係る通学路の安全対策の検証
 について

令和6年度に鷺宮小学校と西中野小学校を統合し、新校舎を旧第八中学校の位置に整備することから、新たに西武新宿線を跨ぐ通学区域ができることになる。通学する児童の安全確保策を検討していくため、業務委託により、西武新宿線を横断する複数の手法について検証を行ったので、以下のとおり報告する。

なお、今回の検証を踏まえ、関係部署等と協議を図りながら、今後の対応策について決定していく。

1 西武新宿線横断策の検証について

(1) 想定される横断策案

想定される横断策案としては、①横断歩道橋案、②地下横断歩道案、③踏切案の三案が出された。①案と②案は、総合新校の近くに立体横断施設を設置することを想定、③案は、新たな踏切を整備するのではなく、利用者が最も多いと想定される鷺ノ宮2号踏切を横断することを基本としたものである。

名 称		①横断歩道橋	②地下横断歩道	③踏切
		立体横断施設		平面交差
利便性		上下移動を伴う	上下移動を伴う	—
安全性	対鉄道	—	—	鉄道と平面交差する
	人同士	—	地下の安全性確保が必要	—
概算事業費		約8.6億円	約13.9億円	約0.8億円
鉄道連続立体交差化との関係		鉄道連続立体交差化に併せて撤去が必要	鉄道連続立体交差化に併せて撤去が必要	—
工 期		1～2年	2～3年	1年未満

(2)各案の課題

ア ①案及び②案について

○表に示した工期は、本体工事のみに係る期間であり、用地買収に関する協議・調整、工事に必要なヤード整備、アプローチ道路整備等に係る期間は見込まれていない。

○鉄道連続立体交差化の事業計画があることから恒久施設とはできず、使用期間が限られ、撤去費用も必要となる。

イ ③案について

児童が安全に横断するために、十分な誘導員の配置、その他の踏切安全対策を講じる必要がある。

以上の課題を踏まえ、関係部署等と調整を行いながら、区の対応策について決定していく。

2 スケジュール(予定)

令和4年 6月 17日 教育委員会報告「横断策の検証について」

30日 議会報告(2定 子ども文教委員会報告)

7月以降 横断策の方針検討